

第24回オンライン読書会(11)(オンライン)

<参加できる阿佐ヶ谷婦人公論読書会>「おんなとおとこの工夫 生涯を連れ添うために」

2021.3.13 開催

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、
オンライン読書会を開催しています。

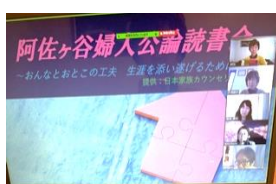
★ テキスト・テーマ：

- 会話の無視は家庭内別居になる？(NET記事：中川浩秀弁護士)

★ 参加者 : 14名 (女性10名 男性4名)

★ 参加者の感想

今回の読書会のテーマは、「家庭内別居」を解消するには？でした。家庭内別居の事例やきっかけ、注意する点が書かれた弁護士の方のネット記事を参考に検討しました。弁護士の方と援助者側の立場の違いがありますが、本来の夫婦関係を取り戻す家庭内別居を戻す側の立場を考慮しながらも、参加者の方のご経験も含め様々なご意見が出されました。

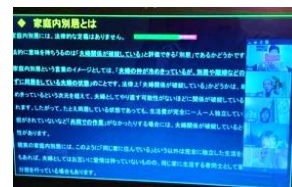


参考記事の中では、家庭内別居の判断基準や注意点、家庭内別居を終わらせる方法として、実際に別居し、弁護士へ相談するという内容が書かれていましたが、さまざまなご意見をうかがって、別居は離婚するための手段ではなく、夫婦関係を良好にするための一つの方法ともなるのではないかと思います。離れることによって、相手のことを考えたり、自分を見直したりすることができ、時間的にも精神的にもある種の余裕が生まれるのではないかと思います。

余裕が生まれることによって、現在はうまくいっていないけれども、過去の良かった時の気持ちを思い出すこともできるのではないかと、その感情に触れることを切り口に、関係変化を起こすことはできないか、などという発想も私の中で生まれました。

夫婦のことは夫婦だけにしかわからず、様々な形があると思います。そして、その様々な形でいいのだとも思います。夫婦の形に対する今までの常識を崩し、多様性があることを理解していくことも必要なのだと感じました。

でも、まあ、一番必要なのはお互いのことを理解するために、言葉を介してお互いを知り合いなおすということかもしれませんね。とても自由でホットな読書会でしたので、あっという間に時間が過ぎ、もう一つの資料、ホルモンについては、理事長のご発声に続いて皆で唱和して終わりました(これもまた楽しいひととき)が、とても興味深い題材です。さまざまな体の中のホルモンが、どんなときに出され、どのように影響するのかも学びたいと思いました。これについては次回に期待です。



私は今回、2度目の読書会参加で、「家庭内別居」というテーマに、実は後ずさり気味の参加だったのですが、そんな心配はなんのその。とても有意義な時間を共有させていただきました。ありがとうございました。

(家族心理士補 服部睦子)

